臺灣日日新報
本日四頁
昭和十九年十二月九日第二種郵便物認可　日曜日　日日新報　第一万五千七百七十五號　（一）

實質的審議峠を越す
兩院 異例の快速振り 發揮

【東京發】議會の審議中に發表された政府の重要政策に對し各黨各會派は夫々の立場から之が檢討を進めてゐたが、十二日の衆議院本會議における岸國務相の施政方針演說を機に各黨各會派の態度は一應明らかとなつた、即ち衆議院においては翼賛政治會、翼賛政治同志會、翼賛議員同盟、翼賛壯年團、大日本翼賛青年團、大日本婦人會、大政翼賛會の七團體が翼賛會の下部組織として翼賛會と一體となつて翼賛政治の實現に邁進することを決定し、また貴族院においては研究會、同和會、無所屬俱樂部、無所屬の四會派が翼賛會と一體となつて翼賛政治の實現に邁進することを決定した、これによつて兩院とも翼賛會を中心として翼賛政治の實現に邁進することとなつたが、これは戰時下國民總力を結集して戰爭完遂に邁進する上に極めて重要な意義を有するものである、

【東京發】十二日の衆議院本會議において岸國務相の施政方針演說が行はれ、これに對し十三日から質疑應答が行はれることになつたが、十三日は午前十時から開會、先づ大東亞戰爭の現段階に對する政府の所信を質すため、松村謙三氏（翼政會）が登壇、岸國務相の施政方針演說に對する質疑應答を行ひ、午後一時半から一般質問に入つた、

【東京發】十二日の衆議院本會議において岸國務相の施政方針演說が行はれ、これに對し十三日から質疑應答が行はれることになつたが、十三日は午前十時から開會、先づ大東亞戰爭の現段階に對する政府の所信を質すため、松村謙三氏（翼政會）が登壇、岸國務相の施政方針演說に對する質疑應答を行ひ、午後一時半から一般質問に入つた、

松村謙三氏演說要旨

【東京發】十二日の衆議院本會議における松村謙三氏（翼政會）の施政方針演說に對する質疑應答の要旨左の如し、

昭和十九年度の軍需生産は航空機に比較して船舶は二割に過ぎず、船舶の增强は航空機の增强と同樣に重要である、

一、昭和十七年度の船舶建造實績は百萬噸、十八年度は百五十萬噸、十九年度は二百萬噸の豫定であつたが、十八年度は百萬噸、十九年度は百五十萬噸に過ぎない、

一、昭和十七年度の船舶建造實績は百萬噸、十八年度は百五十萬噸、十九年度は二百萬噸の豫定であつたが、十八年度は百萬噸、十九年度は百五十萬噸に過ぎない、

一、昭和十九年度の船舶建造計畫は如何、

一、昭和十九年度の船舶建造實績は如何、

一、昭和十九年度の船舶建造計畫は如何、

一、昭和十九年度の船舶建造實績は如何、

一、船舶の修理及び造船用鋼材の配給は如何、

一、船舶の修理及び造船用鋼材の配給は如何、

一、船舶の修理及び造船用鋼材の配給

社說

ラバウルを守る者は誰ぞ

日獨伊枢軸國と同じく大東亞の新秩序、コレドール攻略後の新情勢、南々西の方ラバウルを中心とする南太平洋のラバウルも、敵をその包圍攻撃に陷つて居るとは言へ、敵と雖も容易に陷落せしめ得ざるであらう。

而して、その防衛に當つてゐるラバウルの將兵は、如何に感激に燃えて居ることであらう。敵々一個の一人々々がその防衛に當つて居ることを思ふ時、如何に感激し、如何に奮闘しなければならないかを思ふであらう。

◇

我等銃後にある國民の心構へもまたこれでなければならないと言はねばならぬ。我等は、ラバウルを守り、ラバウルを死守する將兵の士氣を昂揚し、これに感謝の意を表するの道は、如何にすべきかを考へ、如何に奮闘しなければならないかを考へ、如何に生産を擴充しなければならないかを考へ、如何に貯蓄しなければならないかを考へ、如何に消費を節約しなければならないかを考へ、如何に防空を強化しなければならないかを考へ、如何に戰時生活を確立しなければならないかを考へ、如何に敵愾心を昂揚しなければならないかを考へ、如何に戰爭完遂の信念を堅持しなければならないかを考へ、如何に皇國臣民の道を實踐しなければならないかを考へ、如何に大東亞建設の使命を達成しなければならないかを考へ、如何に大東亞の指導國民たるの資格を具備しなければならないかを考へ、如何に大東亞の盟主たるの實力を養成しなければならないかを考へ、如何に大東亞の共榮圏を確立しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新秩序を建設しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新文化を創造しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新經濟を確立しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新道義を昂揚しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新政治を實現しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新世界觀を樹立しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際關係を調整しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際法を制定しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際道義を昂揚しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際組織を結成しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際通貨を發行しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際金融を調整しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際貿易を發展しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際交通を整備しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際通信を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際運輸を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際保險を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際倉庫を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際取引所を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際證券市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際商品市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際穀物市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際綿花市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際羊毛市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際生糸市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際ゴム市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際錫市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際石油市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際鐵鋼市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際非鐵金屬市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際貴金屬市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際寶石市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際美術品市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際骨董品市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際古書籍市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際古文書市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際古美術品市場を確保しなければならないかを考へ、如何に大東亞の新國際古

(第三種郵便物認可)　昭和十九年一月三十日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万五千七百七十五號　(三)

量を恃み侮れぬ敵の戰意
〝荒鷲の鬪魂に應へよ〟
〝量と鬪ふ〟は銃後一億の責務

皇國の隆昌を祈願
擧國の大精神現顯
紀元節國民奉祝實施要綱決る

企業系列の確立
マグネの大增産は喫緊の要事

健全讀書に萬全
〝全國讀書委員會〟を設立

貯蓄向上策を協議
皇奉・戰時貯蓄動員本部幹事會

增產へ萬全の諸施策
臺北州・鎭工增產座談會

青少訓練方策を檢討
新竹州で州治懇談會

新中國中堅將校の猛訓練
食糧增產は私たちで

民生の安定確保に
臺灣・臺要物資の管理に企圖

邦人率先して協力
廣東の難民救濟運動

國策輸送に協力
新竹州・輸送强化委員會要綱審議

看護助手へ
新竹市の適格女性募集

兵事關係消息

擧國の精神を徹底
獨自の構想、徴兵協力會

【社說】戰爭の勝敗は最後の五分間にかゝるといふ。本島五十萬の同胞に課せられた三百十萬圓の國防献金も今殺大無理な割當額に驚かれず、むしろ當然の事に思ひ、かゝる金額の一割に當る金額を、一週間位の間に拠出しようと云ふ氣魄こそ、今日の決戰下に於て最も必要なことである。

東亞十億の民心を把握する大東亞戰の一環として、本島同胞に課せられた國防献金三百十萬圓が、本島人側の自發的な協力運動として、僅か數日間に、殆んど全部醵出されたことは、本島同胞の大東亞戰爭に對する一億一心の熱意を如實に物語るものであつて、吾人は之を以て滿足するものではない。

寧ろ今後の決戰段階に於ては、この程度の醵出は當然のことであつて、更に一段と大きな協力が要求されるであらう。

今回の醵出は、本島人側の自發的な協力運動として行はれたものであるが、今後は、官民一體となつて、本島人側の協力運動を組織的に展開し、擧國一致の體制を確立することが必要である。

本島人側の協力運動を組織的に展開するためには、本島人側の協力運動を指導する中央機關を設置することが必要であらう。

本島人側の協力運動を指導する中央機關は、本島人側の各團體を打つて一丸とした擧國的な團體であつて、しかも本島人側の各團體の獨自性を尊重しつゝ、本島人側の協力運動を強力に指導し得るものでなければならない。

本島人側の協力運動を指導する中央機關は、